

だいにく通信 第八号「冬の号」(新年号)

いあつりつ

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

日頃より当社での神明奉仕にご協力を賜り、ありがとうございます。

社報「だいにく通信」

第八号をお届けします。
社殿・社務所新築工事
並びに境内整備がほぼ
終了いたしました。新
しい社殿・境内の様子
につきましては、次の
「大國神社の今」をご参
照くださいませ。残っ
ている細かい作業もま
もなく完了予定です。
二年間にわたる工工期
間中、崇敬者の皆様には
暖かいご理解・ご協
力をいただきました。



心よりお礼申し上げます。また、大変ご不便をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

以前よりもこぢんまりとした境内となりましたが、崇敬者のみなさまに安心してお参りいただける環境にしていきたいと考えております。

今後ともなにとぞよろしくご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。(写真は境内全景)

大國神社 宮司 大島資生

大國神社の今

〈新築工事の様子〉

「ごあいさつ」に記しました通り、昨年十二月末、社殿・社務所新築工事がほぼ終了しました。植栽の仕上げなど細かな作業が残っていますが、一月中には完了する予定です。なお、これに伴い、お披露目として、次の日時で竣工記念祈禱祭を執り行う予定です。

二月五日(日) 午前八時～午後一時

皆様のお越しをお待ちしております。

新社殿・境内の様子

社務所です



神額も塗りなおしました



梅がかおります



手水舎です



門扉に小槌をあしらいました



外灯も健在



お宮あれこれ～五色について～

神社の社殿では祭具に写真のような五色の布が下げてあります。

これは「五色(ごしき)」と呼ばれ、両端から中心に向かって、次の順で色を並べます。

緑・黄・赤・白・紫

なぜこのような色を使うのでしょうか。今回は、五色の由来について考えてみます。

五色のもととなっているのは、古代中国から伝わる「四神」と呼ばれるものようです。これは「青龍・朱雀・白虎・玄武」という四つの霊獣で、次のように色が決まっています。

青龍は青、朱雀は赤、白虎は白、玄武は黒

四神は方位の神、あるいは季節を表わすときれています
(玄武 北・冬、青龍 東・春、朱雀 南・夏、白虎 西・秋)。こ



れに黄龍(こうりゅう・おうりゅう)を加えて五神とし、宇宙全体を表現するものと考えたのだという説があります。そうすると、色は次の五つになります。

青・黄・赤・白・黒

古い時代の日本語では緑は「あお」と呼ばれていました(「青信号」という言葉はその名残りです)。そこで、青の代用として緑が用いられたのだと考えられます。青を緑に置き換えます。

緑・黄・赤・白・黒

問題は最後の黒です。なぜこれが紫になったのでしょうか。奈良時代、聖徳太子が役人の等級として「冠位十二階」を定めたこととされます。この制度では、それぞれの階級に対して色が決められていたと言われています。そして紫は最上位の大徳・小徳、他方、黒は最下位の大智・小智の色だったとことです。これは推測ですが、社殿内の装飾として下位の色を用いることが嫌われ、上位の色に入れ替えたのではないのでしょうか。

推理の当否はともかくとして、五つの色を用いた背景には、社殿にお祀りする神々をお守りしようという気持ち、そして、霊獣が備えている特別な力にあやかりたいという心理が働いたと考えることができます。今回の五色を始め、お宮にあるものの色にはさまざまな物語があるようです。神社にお参りの際、色に注目してみたいかがでしょうか。

祭礼・祈禱のご案内

○竣工記念祈禱祭

二月五日（日） ご祈禱受付時間 午前八時～午後一時

○次回甲子祭

三月四日（日） ご祈禱受付時間 午前五時～十二時

○開運千人講祈禱祭 毎月一日（午前六時～正午まで）

○お祓いのお申し込み・お問い合わせなどは以下の電話番号にお願いいたします。

不在の場合は、恐れ入りますが、留守番電話のメッセージのあとで、お名前・お電話番号・ご用件をお話してください。のちほどこちらからご連絡いたします。

○諸祈禱受付 商売繁盛祈願、心願成就祈願、厄除け、お宮参りなど、随時祈禱を行っております。祈禱日時については、お電話にてご相談ください。

〈お問い合わせ・お申し込み〉

○三三二九一八七九三〇

お急ぎの場合は携帯電話へどうぞ ↓ 〇八〇一九八七七八七一六

eメール daikokujinja@gmail.com

ウェブサイトの案内

当社のウェブサイト（ホームページ）を公開しております。

神社からのお知らせ・神社の由緒のほか、「だいきく通信」の内容も一部抜粋して掲載しております。さまざまなお知らせに活用したいと存じます。機会がありましたら、ぜひご覧下さいませ。なお、ツイッターにも参加しております（アカウントは @daikokujinja です）。

<http://www.daikokujinja.org>

次号発行予定

「だいきく通信」第八号、いかがでしたか。次号「春の号」は、三月四日の甲子祭に発行予定です。

「だいきく通信」第八号 平成二十四年一月四日発行

編集・発行 大國神社社務所

〒一七〇—〇〇〇三 東京都豊島区駒込三二—二一